

学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」(京都府)



若いパワーで京都の安全を守ろう！

学生の若いパワーとアイデアを活かした効果的な防犯活動

1 団体の概要

京都府内には、46 大学約 16 万人の大学生が生活しており、全体の人口（約 256 万人）に占める割合が全国第 1 位（比率約 6.3%）で「学生の街」と呼ばれています。

京都府警察では、学生の身近な交通手段である「自転車」の盗難被害のうち、被害の大半が大学生であったり、逆に加害者となっている状況から、多くの学生に犯罪抑止活動への参加を促し、学生の防犯意識や規範意識の高揚を図ることを目的として、平成 21 年 5 月、全国に先駆けて防犯ボランティア登録制度を創設しました。

登録した学生は、学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」として活動を展開しており、2 年目となる現在、32 大学 129 名の学生が、「防犯教室部」「防犯パトロール部」「企画広報部」を中心に、オレンジ色のベストを着用し、街頭や大学キャンパス内での啓発活動や高齢者等を対象とした防犯教室、防犯パトロール活動等を展開しています。

2 活動地域の状況

京都市は、北・東・西の三方を山で囲まれる盆地です。

清水寺や金閣寺、二条城を始めとする文化財が点在し、まち全体が歴史の薫りを漂わせる「観光都市」であり、また、市内を中心に 46 大学（短期大学・大学院を含む。）が集ま

る「学生の街」でもあります。

こうした歴史と文化が息づき、学生の若いパワーが溶け込んだ京都市を中心に、地域、警察、大学、行政等が連携しながら、「学生だからできること、学生にしかできないこと。」を合い言葉に地域安全活動を展開しています。

3 活動状況(活動回数:H21.7.1～H22.8.13)

	街頭啓発	防犯パトロール	防犯教室	その他	計
活動回数	87	23	22	96	228
人員	456	158	94	584	1,292

「その他」は、打合せ、会議、活動準備等

4 防犯パトロール

月1回の防犯パトロールのほか、府下一斉の年末特別警戒活動にあわせ、京都市内主要箇所に分散して、各種防犯予防を呼びかけながらパトロールを実施しています。

平成22年3月、京都市が主催する観光イベント「東山花灯路2010」において、観光地の安全を守るため、ライトアップされた清水寺、高台寺周辺をパトロールしました。

5 啓発活動

平成21年11月、学生の防犯意識及び規範意識の高揚を目的に、学園祭の場を利用し、大学キャンパス内で抑止効果の高い啓発活動を実施しました。

平成22年7月、西陣織協同組合の協力を得て、京都の伝統工芸品である西陣織の防犯幟旗を掲げ、着物等を身にまとい、サイバー犯罪防止と著作権保護の啓発を行いました。

平成22年8月、振り込め詐欺被害防止を目的に、学生が防犯川柳を作成し、「ふりこま川柳コンテスト」と題して、通行人等に優秀な川柳を選考してもらいながら防犯意識を高めてもらう参加型啓発活動を実施しました。

6 防犯大会や防犯教室への参加

平成21年10月、警察や京都市、京都府防犯協会連合会が開催した「安心・安全まちづくり京都大会」では、学生が企画段階から参画し、司会を始め運営を担当して大会を盛り上げ、広く府民に防犯を啓発しました。

子ども安全や高齢者被害防止を訴える学生手作りの防犯寸劇を各地で上演しました。

7 斬新なアイデアによる地域安全ニュース、啓発用シール等の制作

若者の視点から視覚に訴える痴漢被害防止の地域安全ニュースや振り込め詐欺被害防止啓発チラシを考案したほか、ロックモンキーズのキャラクターや防犯標語を盛り込んだ「京都らしさと大学生の若さ」をイメージした防犯シールを考案しました。

8 大学、行政に働きかけた活動

女子大生が自ら企画し、大学に働きかけて女子大学周辺における危険箇所の点検パトロールを実施したり、学生が京都市に働きかけて成人式会場における新成人約9千人に対する啓発活動を実施するなど、学生の熱意が大学や行政を巻き込んだ活動を実現しました。

9 ホームページ、ブログ、ツイッターによる情報発信

学生を始め府民に地域安全情報を提供し、防犯意識の高揚を図るため、活動内容や感想

を書き込むブログや防犯コーナー等を設けたホームページを開設しています。また、若者に関心の高い「ツイッター」を開設し、振り込め詐欺や自転車盗被害防止を啓発しています。

ブ ロ グ	http://lockmonkeys-kyoto.blog.eonet.jp
ホームページ	http://lockmonkyeys.jimdo.com/

10 未来に向けて

活動の継続による地域との連帯強化

ロックモンキーズの体制の拡充と規範意識の高揚

学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」(京都府)

みなさん、こんにちは

私たちは、京都から参りました学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」と申します。どうぞよろしくお願いいたします。



学生ボランティアの活動内容

平成21年、京都府警察本部が、大学生の防犯意識や規範意識の高揚、学生の若い力を防犯に活かす目的で創設した「学生防犯ボランティア登録制度」に、私たちは応募しました。この制度は全国初の試みです。

この制度は、大学のクラブやサークル単位で防犯活動をするのではなく、防犯活動に参加意欲がある個々の学生が警察へ登録申し出を行い、やる気のある個人の集まりとして活動しています。また大学の垣根を越えて学生が集まり、京都の安全・安心を目指して頑張っています。大学の垣根を越えることによりさまざまな意見を持つ学生が集まり、ユニークな意見を交換できたり、学生らしい面白い企画が出てきます。

一例をあげますと、京都市の成人式での啓発活動や大学学園祭での啓発活動、そして着物を着ての啓発活動などがあります。いずれの活動も「成人式の会場で、啓発活動ができないだろうか?」「着物を着て啓発活動がしてみたい。」といった学生の一言から企画が実現しました。

この表は、ロックモンキーズに登録する大学数と学生数です。

学生防犯ボランティアロックモンキーズ大学別登録数・平成21年7月1日～平成22年10月12日までの活動回数

1 大学別学生登録数

京都大学	立命館大学	ノートルダム女子大学	京都女子大学	同志社大学	京都産業大学	龍谷大学	佛教大学	同志社女子大学
3	20	20	13	10	7	6	6	6
京都橘大学	平安女学院大学	花園大学	京都文教大学	帝塚山大学	京都工芸繊維大学	大谷大学	京都精華大学	京都教育大学
4	4	3	3	3	2	2	2	1
池坊短期大学	大阪工業大学	種智院大学	京都府立大学	京都医療科学大学	摂南大学	日本大学	大阪音楽大学	大阪経済法科大学
1	1	1	1	1	1	1	1	1
近畿大学	京都外国語大学	京都嵯峨芸術大学	関西外国語大学	京都学園大学	計32大学			
1	1	1	1	1	129名			

2 平成21年7月1日から平成22年10月12日までの活動内容

「人員」は延べ人数、「その他」は打ち合わせ等

	啓発	パレード	パトロール	防犯教室	イベント	見守り活動	会議	研修会	その他	計
回数	82	3	18	26	6	7	18	12	76	248
人員	392	61	173	115	56	11	84	103	449	1444

登録者は、京都府内の大学に通う大学生若しくは京都府内に在住する大学生で、10月1日現在、32大学129名が登録しています。

活動内容としては、啓発活動、パレード、パトロール、防犯教室など多岐にわたっています。

平成21年7月から活動を開始し、平成22年10月12日までの回数は248回、延べ人数1,444人にのぼります。

私たちは学生防犯ボランティアとして登録した後、京都府警が開く「防犯ボランティア講習会」を受けました。

ここでは、防犯ボランティアとしての役目やボランティアとしてできること、できないことなど活動の基本的な内容から、立正大学小宮信夫教授が提唱される「犯罪機会論」に基づく防犯の基礎を学び、実際にまち歩きしながら危険箇所を確認し、犯罪機会論を体得して、それに基づいて、「地域安全ニュース」を作ってみました。

防犯ボランティア講習会を終え、生活安全部長さんから学生防犯ボランティア登録証と、活動ベスト、帽子、身分証をいただき、私たちは大きな不安と期待をもって、防犯ボランティア活動に取り組み始めました。

さあ、防犯活動のスタートです。

京都の祇園や木屋町といった繁華街を中心に、防犯パトロールを始めました。

ただ、パトロールするだけでなく、すれ違う人に「こんにちは！防犯パトロールを行っています。ひたたくりに気をつけて下さい！」と声を掛けながら行いました。

はじめは恥ずかしかかったけれど、すぐに慣れ、多くの人々に元気よく啓発を行うことができました。

声をかけた時、「ごくろうさん。」と言われたり、私たちと同じ年くらいの若者から「気を付けるわ！」と元気よく反応があった時は、とても嬉しいものです。

私たちは、各警察署の皆様と一緒に、様々な啓発活動を行いました。

京都駅前、地下鉄の改札口、オフィス街、嵐山などの観光地などです。

私たちがオレンジのベストを着て、街へ繰り出し、地元の防犯ボランティアの方々と交流しながら元気よく活動すると、地域の方から、「若い人と活動すると活気が出る。」と大変喜ばれます。とても嬉しいですし、やりがいのあるボランティア活動だと思います。

続きまして、環境美化活動や勉強会です。



私たちの活動は、地域の環境美化や危険箇所パトロールも行っています。環境美化は、犯罪に強い街づくりへとつながると考えています。

さらに私たちは、勉強会や月に1度の定例会を欠かしません。

勉強会では、プレゼンテーションの方法から効果的な地域安全ニュースの作り方やホームページの作り方などを勉強しました。

定例会は、来月の活動方針や計画を決めるなど、ロックモンキーズの意志決定を行う重要な会議で、仲間とコミュニケーションを取れる場でもあります。

また、私たちは、警察が行う各種イベントやパレードへも積極的に参加します。

誘われて、ただ参加するだけでなく、自分たちのアイデアを提言したり、イベントの司会を行います。

ロックモンキーズには、企画広報部に「アナウンサー室」があり、アナウンサー室室長はアナウンサー志望の学生で、高校時代に放送部で鍛えた実力を防犯活動で発揮しながら活躍しています。

私たちは各大学でも活動を展開しています。

京都は、人口の6%が学生ということもあり、「学生の街京都」と言われています。多くの学生は、交通手段として自転車を利用しています。そのため学生が自転車盗難被害に遭ったり、逆に加害者になったりする悲しい現実があります。こうした現状から警察と私たち学生で自転車盗撲滅を訴えようと、大学周辺で7月と10月に撲滅キャンペーンを行いました。

学生ならではの活動

学園祭や成人式での活動

また、私たちは、「学生だからできること。学生にしかできないこと。」をモットーに活動の場を広げています。



左上の写真は、京都駅前で行った振り込め詐欺被害防止活動の際、警察庁の片桐次長さんが、ロックモンキーズを激励にこられた様子です。ますますやる気が出ました。

右上の写真は、京都女子大学の入学オリエンテーションにおいて、新入生に対する振り込め詐欺被害や、女性犯罪被害防止を訴えている活動の様子です。

このときは、ロックモンキーズの学生が大学に申し出たことにより、オリエンテーションの会場に防犯ブースを設け啓発活動を行うことができました。

下 2 枚の写真は、大学学園祭における啓発活動の様子です。



これも学生が大学に申し入れ、キャンパス内での啓発活動が実現したものです。

いずれも「学生だからできること」を常に考え、これまでになかった活動を実現したものです。

次は、各種防犯大会や防犯教室で上演した「防犯寸劇」です。

全国地域安全運動期間中、警察本部・京都市・防犯協会主催で行われる「安心・安全まちづくり京都大会」での防犯劇や、老人クラブ等での振り込め詐欺被害を呼びかける寸劇、園児対象の子どもたちの安全を教える防犯劇など、興味を引きつけながら、効果的に防犯を伝えています。

特に戦隊ものの「ロックモンキーズレンジャー」は、子ども達に大人気です。

こういった防犯寸劇は、学園祭の感覚でおこなっていますので、大変楽しく活動しております。

次は、平成 22 年「京都市成人の日記念式典」における啓発活動です。

これもメンバーの発案により、学生が京都市教育委員会に働きかけ、式典会場内での防犯活動が実現した事例です。

新成人約 9,000 人に対して、振り込め詐欺や自転車盗・バイク盗被害防止を訴えました。あわせて、社会人としての強い自覚を持ち、犯罪被害者にも加害者にもならないように呼びかけも行いました。

京都市長さんも私たちを激励して下さい、教育委員会からは、「同世代が呼びかけることは教育的効果も期待できる。」と評価され、来年も引き続き行って欲しいと声が掛かりました。

京都でも振り込め詐欺被害が多発していることから、私たちは振り込め詐欺被害防止対策にも力を入れ、啓発活動などに取組んできました。

そして、これまでの私たちの活動が認められ、平成 22 年 1 月 26 日、警察庁振り込め詐欺対策室長から感謝状をいただきました。



女性の安全を守る活動

ロックモンキーズのメンバーは約3分の2が女子学生です。男性40名に対して、なんと女性が89名です。

女子大生が多い京都において、女性の安全を守る活動は、大変重要であると私たちは考えています。

昨年、女子大生が島根、千葉で殺害された事件を繰り返さないとの強い思いから、女子大周辺での危険箇所パトロールを企画・実施しました。

ロックモンキーズの女子メンバーが大学に申し入れ、大学側にも全面協力していただき、大勢の学生の参加を得て実施することができました。



パトロール後は、危険箇所を地図に記した「安全マップ」を作成し、大学へ寄贈してキャンパスや女子寮に掲示するなど、女子学生へ注意を呼びかけています。

次は、京都市に働きかけて実現した観光地での夜間パトロールです。

京都市では、神社仏閣の夜間拝観による観光イベント「京都・東山花灯路 2010」を平成22年3月に開催しました。

このイベントでパトロールを行えば、ひたたくり被害防止など啓発すれば多くの人たちに防犯を呼びかけることができるとメンバーが発案し、京都市へ防犯団体の参加を働きかけた結果、今回初となる観光イベントでの防犯パトロールが実現しました。

F Mラジオでの啓発活動

アナウンサー室室長の私は、今年の9月まで、インターネットラジオFM G I Gでパーソナリティをつとめておりました。

そこでラジオというメディアを通して、「防犯を呼びかけることはできないか？」と考え、私がDJをするラジオ番組で防犯を呼びかけました。ラジオ番組の中では、ロックモンキーズに出演してもらい活動の紹介やリスナーへの防犯の呼びかけを行ないました。防犯というと硬いイメージがありますが、その点を改善することができたと思います。

平成22年6月9日、京都駅前において、日本ロックセキュリティ協同組合が主催する「ロックの日」キャンペーン

インターネットラジオ fmGIG に出演し、 若者に対して防犯を訴えました！



平成22年4月29日PM9～PM11まで
オンエアしました。
西田代表と廣本広報・企画部長が出演！



DJは、もちろんロック
モンキーズの学生です！

に参加し、鍵掛けを呼びかけました。

当日、メンバーが考案した「ロックのポーズ」を披露し、通行する人々に鍵掛けの必要性を効果的に普及することができました。

これも学生主体で活動してるロックモンキーズならではの活動と考えております。

ライブハウスでの防犯寸劇等

さらに、インターネットラジオを通じて、ライブハウスでの防犯寸劇上演の依頼がありました。

ライブハウスでの防犯寸劇と聞いてびっくりした方もいらっしゃると思います。通常、防犯イベントに音楽を取り入れることはありますが、音楽イベントが防犯を取り入れるのは少ないのではないのでしょうか？

音楽演奏の幕間、観客に対して着ぐるみやロックモンキーズレンジャーによる防犯寸劇を披露し、自転車盗被害防止を訴えるなど、楽しく共感を呼ぶ防犯啓発を行いました。

次は、企業とのコラボレーションです。

皆様もご存知のとおり、京都には日本を代表する企業もたくさんあります。

例えば、ワコールや京セラ、任天堂などです。

これらの企業が会員となっている、「京都不正商品対策協議会」に、ロックモンキーズの活動を理解していただき、防犯活動用品の支援をいただきました。さらに会員である西陣織工業組合から、西陣織でできた幟旗3本とタスキ26本を頂きました。もちろん絹100%で、イラストも染め付けでなく、織込みによりできた非常に贅沢な旗やタスキです。

その旗やタスキをもって、平成22年7月1日、京都の中心地である四条烏丸でサイバー犯罪撲滅や著作権保護を啓発しました。着物や浴衣を着て啓発チラシを配ったり、呼びかけをしました。着物を着ることによって、「防犯」というだけでなく、街ゆく人、観光客の方にも目を止めていただくことに成功しました。着物の似合う京都の街らしく、学生が着物、浴衣を着て活動いたしました。

学生のアイデアを活かしたポスター等の作成

これまでのロックモンキーズの活動は新聞各社にも取り上げられました。



年末警戒
安心安全な京都づくり
知事らボランティア激励



新聞記事を通じて若者が防犯活動に取り組んでいることを広く知っていただければ、ありがたいと思います。

ロックモンキーズは、学生のアイデアや特技を生かして活動しています。学生らしく斬新なアイデアで考案した啓発チラシや、防犯シール、そして、若者が関心を持つホームページやブログ、ツイッターを活用して効果的な啓発活動も展開しています。

これは、企業広告を大学で学ぶメンバーが作成した防犯大会のポスターや子どもの安全を訴えたチラシです。



これまでにない斬新なアイデアや、パソコンを活用した特殊映像によるポスターは学生のレベルとは思えない作品に仕上がりました。

向かって右側のチラシに印刷された子ども安全を訴えるキャッチコピーも

「今日もとなりの由美ちゃんは8時に学校へ出かけました。

気にかける。それも防犯の一つです」。

と日常生活の目線から子どもの安全を訴えたコピーに、多くの人々から共感が寄せられました。

私たち、学生が活発に活動するロックモンキーズがモデルとなり、警察庁による「若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業」が開始されました。

今、全国の若者による防犯団体が次々と結成されています。

ロックモンキーズが、全国の若者に大きな影響を与えることができました。

私たちは、全国の若者のフロントランナーとして、これからも走り続けたいと思います。

そして、これまでのロックモンキーズの活動や、部内外に与えた多大な影響が評価され、平成22年10月8日安心・安全なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰を、総理官邸で受賞しました。

これも皆様の力添えがあればこそ実現したものと感謝しています。

菅総理も学生が防犯活動を行っていることに大変驚かれた様子で、大いに激励していただきました。

活動の目的

私たちの活動の究極の目的は、地域の再生にあると考えています。地域で頑張っておられる防犯ボランティアの皆さんは、高齢の方が多くのように思います。現役世代は忙しく、地域への活動になかなか参加できず、若者は地域活動への関心が薄いという現実があります。

私たち学生が自主防犯活動を行うことによって、「学生がやっているのだから頑張ろう。」と地域のあらゆる層が立ち上がり、地域が一体となった活動が生まれ、失われかけた地域の絆や連帯が再生してくれればと願っています。

「地域再生へのかけ橋」、これこそが「学生だからできること。学生にしかできないこと。」ではないかと私たちは考えています。

以上で発表を終わります。ありがとうございました。



司会 警察主体だった団体が、学生主体として立派に活動し、将来の防犯ボランティアの担い手となってくれるのではないかと期待しております。

何か質問はございますでしょうか？

質問 大学生の防犯ボランティア団体は、大変出入りが激しいと思いますが、新隊員の勧誘はどのように行なっていますか？

回答 勧誘の時期は5月末から6月にかけて勧誘させていただいています。その中でロックモンキーズが最も大切にしていることは、活動を楽しんでいくことです。楽しい活動ができるという、「あなたのアイデア」を活かした活動ができることを説明して勧誘しております。

ホームページですとかポスターなど、そういった形で啓発活動を行いながら、勧誘しているという形ですので、本当に興味を持った方が参加していただいていると私たちは

考えています。

質問 静岡県富士市から参りました。富士市にも大学があり、活動の参加を呼びかけたのですが希望者がいませんでした。どのようなきっかけでボランティアに参加しようと思ったのか、一番の要因を教えてくださいませんか？

回答 きっかけはメンバーさままでして、たとえば京都に住んでいるのだから地元の方々と交流したい、将来警察官になりたい又は教師になりたいといった夢を抱いて、そういった夢の第一歩として、「どんなことをすればいいのだろうか？」といったようなことを探るために、活動に参加しているメンバーもいます。

また、漠然とボランティア活動がしたいといった形で参加しているメンバーもいますし、きっかけは多種多様さまざまかと思います。若い世代の方とベテランのボランティアの方々が共に活動していくにあたっては、コミュニケーションを積極的に図っていくことが大切ではないかと思います。